

令和元年度

熊本市こころの健康センター所報

熊本市こころの健康センター

はじめに

令和 2 年早々から、新型コロナウイルスの感染が始まり、世界的に感染が日々拡大しております。報告いたします平成 31 年度(令和元年度)におきましても、年度末の当センター事業の一部中止など影響を与えております。その後も感染拡大防止対策を講じながら、一旦は減少させますが、医療と経済との両立を図るための方策を講じますと、再度感染者が増加する事態となり、熊本市におきましても、新型コロナウイルスの感染対策として、新たな業務の発生、本来の業務の中止や延期、在宅勤務やリモートワークの推進などその都度その状況に合わせた対策に追われております。

当センター事業としましては、精神保健福祉相談及び診療(常勤医の雇用が叶わず H29.4 月から休止中)、人材育成・教育研修、普及啓発、関係機関への技術支援、組織育成、自殺対策、依存症対策、社会復帰支援、ピアサポート事業、精神医療審査会等の精神障がい者の権利擁護、自立支援医療費及び精神障害者保健福祉手帳の判定業務、ひきこもり支援センター(委託)を引き続き実施しております。

事業の中でも、熊本地震発生から 4 年半の月日が経過し、熊本市では、被災された全ての皆様が復旧・復興を実感していただけるよう被災者の生活再建に全力を注ぐとともに、復興の加速化に取り組んできたところです。大規模な災害の発生後は、自殺のリスクが高まることが想定され、東日本大震災で三年後に増加したとする調査結果もありますことから、被災者の心のケアに当たり、現在もまだ、仮設住宅における生活を余儀なくされておられる被災者の支援を継続的に実施しているところです。合わせて、平成 31 年 3 月に策定しました「熊本市自殺総合対策計画」では、本市での自殺未遂歴のある自殺者数の割合が全国の割合を上回っているため、昨年度から専門の支援員を配置し自殺未遂者支援に取り組んでいるところです。これからも、復興に向けた取り組みの中で、市民の皆様の心の健康づくりに全力で取り組んでいきたいと考えております。

その他、今年度の事業としましては、依存症対策では、「依存症行動変容グループミーティング」、「依存症家族教室」、市民や家族、支援者向けの「依存症講演会・研修会」、自殺予防は、支援者向けの「ゲートキーパー養成研修」、市民向けには「ふれあい出前講座」。さらには、「暮らしとこころの悩みの相談会」では、弁護士、精神科医、臨床心理士、生活自立支援センター、ハローワークの相談員が同日に無料で相談をお受けする予定としておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、開催可能な時期に開催している状況となっております。

今後も、このような取り組みを継続することで、障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いの人格と個性を尊重し、支え合う社会の実現に取り組んでいきたいと考えております。

最後に、毎年のように発生しております豪雨災害が、熊本におきましても発生しております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興が図られますようお祈り申し上げます。

令和2年12月
熊本市こころの健康センター所長 古閑 章浩

目次

I こころの健康センターの概要

1 沿革	1
2 業務概要	1
3 施設概要	1
4 組織	2
5 歳入及び歳出	2

II こころの健康センター業務実績

1 企画・立案	
(1) 熊本市精神保健福祉審議会	3
(2) 熊本市自殺対策連絡会	3
(3) 熊本市自殺対策連絡協議会	3
2 精神保健福祉相談（こころの健康相談）	
(1) こころの健康相談	4-5
(2) 相談受付者の状況	6-9
3 人材育成・教育研修	
(1) 精神保健福祉担当者研修会	11
(2) 思春期精神保健福祉研修会	11
(3) 自殺予防研修会	11
(4) ゲートキーパー養成研修会	11
(5) 依存症研修会	11
(6) 社会復帰支援研修会	11
4 普及啓発	
(1) 自死遺族グループミーティング	12
(2) ゲートキーパー養成講座	12
(3) 依存症当事者グループミーティング	12
(4) 依存症家族教室	12
(5) 依存症講演会（こころの健康づくり講演会）	12
(6) 依存症予防普及啓発講話	12
(7) WRAP（元気回復行動プラン）集中クラス	12
(8) 就労ミーティング（デイ修了生の集い）	12
(9) ピアサポート講座	12
(10) アサポートの集い（フォロー研修）	12
(11) ピアサポート講演会	12
(12) パンフレット等の普及啓発資料の作成・配布	13

5	組織育成	
(1)	支援件数	14
(2)	支援内容	14-15
6	関係機関への技術支援	
(1)	技術指導・援助延件数	16
(2)	「(1)技術指導・援助延件数」のうち個別コース処遇に関する 技術指導・援助延件数（内訳）	16
7	自殺・うつ対策	
(1)	くらしとこころの悩みの相談会（包括相談会）	17
(2)	【新規事業】こころといのちの支援事業（自殺未遂者支援事業）	17
(3)	自死遺族グループミーティング	18
(4)	自殺予防研修会	19
(5)	ゲートキーパー養成研修会（支援者向け）	20
(6)	ゲートキーパー要請講座（市民向け）	20
8	依存症対策	
(1)	依存症当事者グループミーティング	21
(2)	依存症家族教室	21
(3)	保護観察所でのストレス講話（引受人会）	21
(4)	依存症講演会（こころの健康づくり講演会・家族教室）	21
(5)	依存症予防普及啓発講話	22
(6)	依存症研修会	22
9	精神障がい者の社会復帰支援	
(1)	WRAP（元気回復行動プラン）集中クラス	23
(2)	就労ミーティング（デイ修了生の集い）	23
(3)	ピアサポート講座	23
(4)	ピアサポートの集い（フォロー研修）	24
(5)	ピアサポート講演会	24
(6)	社会復帰支援研修会	24
10	ひきこもり対策推進事業	
(1)	ひきこもり支援センター「りんく」	25
(2)	センター概要	25
(3)	事業内容	25-27
11	自立支援医療費（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳の判定	
(1)	自立支援医療費（精神通院）	28
(2)	精神障害者保健福祉手帳	28-29

1 2	精神医療審査会の審査に関する事務	
(1)	定期等の報告	30
(2)	退院等請求（請求件数、審査結果の内訳）	30
(3)	審査結果内訳	30
(4)	相談等件数	30
(5)	代理人・家族等による請求	30

Ⅲ 平成28年熊本地震への対応（令和元年度活動分）

1	相談	
(1)	電話相談	31
(2)	来所相談	31
(3)	包括相談会（再掲）	31
2	広報・啓発	
(1)	市民、職員向け資料作成・提供	32
(2)	市民向け講演会：災害後に懸念されるアルコール問題に関する啓発	32
3	人材育成	
(1)	支援者向け研修（庁内外向け）（再掲）	32
(2)	ゲートキーパー養成研修会	33
4	技術支援	
(1)	関係機関への技術支援	33
(2)	精神科医師による区役所巡回相談（支援者向け）	33
5	熊本こころのケアセンターについて（参考）	34

I 熊本市こころの健康センターの概要

熊本市こころの健康センターは、精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律第6条第1項に規定される精神保健福祉センターとして設置されている。

1 沿革

平成24年	4月	1日	熊本市こころの健康センター開設
平成24年	5月	1日	熊本市こころの健康センター診療所認可
平成24年10月	2日		就労準備デイ・ケア（精神科ショートケア）開始
平成26年10月	1日		熊本市ひきこもり支援センター「りんく」設置 （業務委託開始）
平成29年	3月31日		就労準備デイ・ケア終了 こころの健康センター診療所休診
平成30年	4月	1日	熊本市自殺対策推進センター設置
令和2年	3月27日		熊本市依存症相談拠点設置

2 業務概要

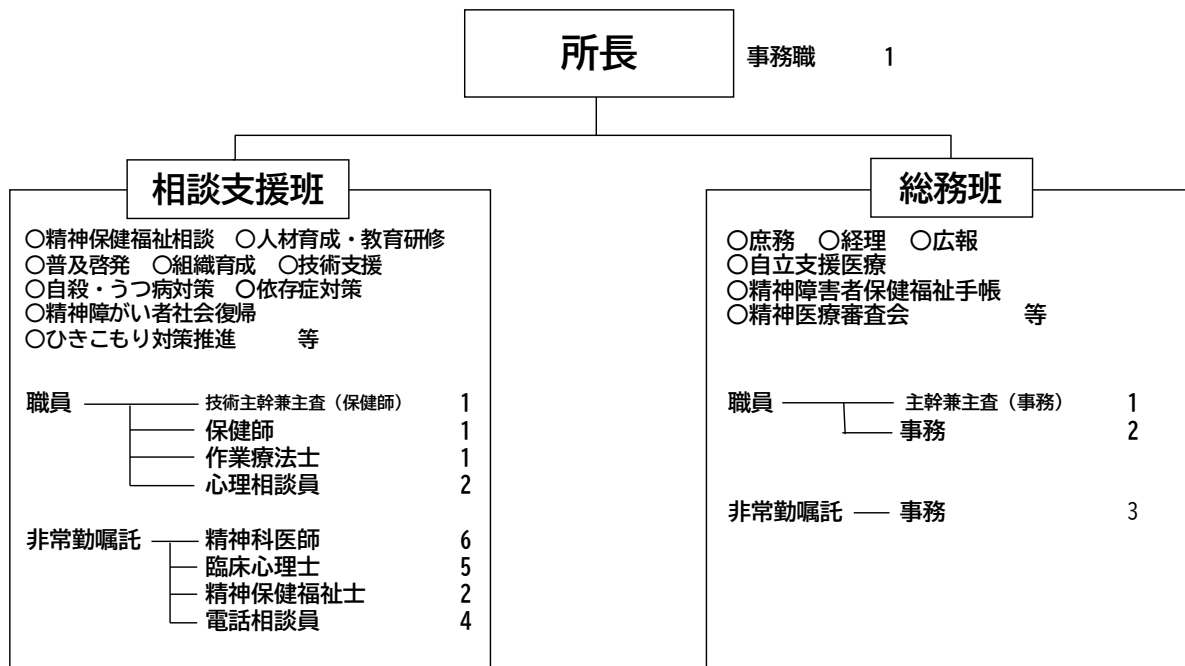
熊本市こころの健康センターでは、以下の業務を行っている。

- (1)企画・立案
- (2)精神保健福祉相談
- (3)人材育成・教育研修
- (4)普及啓発
- (5)組織育成
- (6)関係機関への技術支援
- (7)自殺・うつ病対策
- (8)依存症対策
- (9)精神障がい者の社会復帰支援
- (10)ひきこもり対策推進事業
- (11)調査研究
- (12)自立支援医療費（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳の判定
- (13)精神医療審査会の審査に関する事務

3 施設概要

所在地	〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1番1号 熊本市総合保健福祉センター（ウェルパルクまもと）3階		
面積	35.10 m ²		
電話番号	代表番号	096-366-1171	
	FAX	096-366-1173	
	こころの健康相談	096-362-8100	
	熊本市精神医療審査会	096-366-1222	

4 組織 （令和2年3月現在）
熊本市こころの健康センター組織図



5 歳入及び歳出

(1) 歳入	10,434,670 円
国庫補助金	10,434,670 円
使用料	0 円
手数料	0 円
(2) 歳出	42,148,900 円

（節別内訳）

節	金額	節	金額
報酬	14,617,531 円	医薬材料費	5,391 円
共済費	854,282 円	役務費	6,354,976 円
報償費	510,000 円	委託料	17,188,428 円
普通旅費	612,810 円	使用料	151,639 円
特別旅費	155,940 円	備品購入費	0 円
一般需用費	1,451,158 円	負担金補助	166,000 円
食糧費	21,347 円	公課費	24,600 円
燃料光熱水費	34,798 円		

Ⅱ 熊本市こころの健康センター業務実績

1 企画・立案

地域精神保健福祉を推進するため、精神保健福祉の専門的な立場から、関係機関及び熊本市の精神保健福祉関係部署に対し、精神保健福祉に関する提案、意見具申等を行っている。

(1) 熊本市精神保健福祉審議会（行政関係職員として所長が参加）

精神保健福祉に関する事項を調査審議する。

精神保健及び精神障がい者の福祉に関する本市の取り組みについての意見や法第 19 条の 9 第 2 項規定による指定病院の指定の取り消しの際の意見を聴取する。

令和元年度については、コロナ禍による影響で開催していない。

(2) 熊本市自殺対策連絡会（行政関係として当センターから複数名参加）

熊本市における自殺者数の減少を図るため、庁内の関係各課が連携し、自殺対策を総合的に推進することを目的とする。

期日	協議内容
R2.2.12	○熊本市の自殺の現状について ○熊本市自殺総合対策計画に沿った取組状況について ○熊本市自殺総合対策計画の進捗確認について

(3) 熊本市自殺対策連絡協議会

熊本市における自殺者数の減少を図るため、市内の関係機関・団体が連携し、自殺対策を総合的に推進することを目的とする。

令和元年度については、コロナ禍による影響で開催していない。

2 精神保健福祉相談（こころの健康相談）

当センターでは、区役所及びその他関係機関の複雑困難事例、医療機関及び相談機関等につながっていない困難事例等の相談対応を実施している。また、これら以外の相談事例についても、必要に応じて対応している。

相談体制は、来所相談と電話相談で、来所相談は事前予約制としている。また、来所が困難である事例等は、必要に応じて訪問を行っている。来所相談はセンター職員及び会計年度任用職員で対応、電話相談は専属の会計年度任用職員で対応している。電話相談については、専用回線を設置し、平日の9：00～16：00で、こころの悩み等の幅広い相談に対応している。

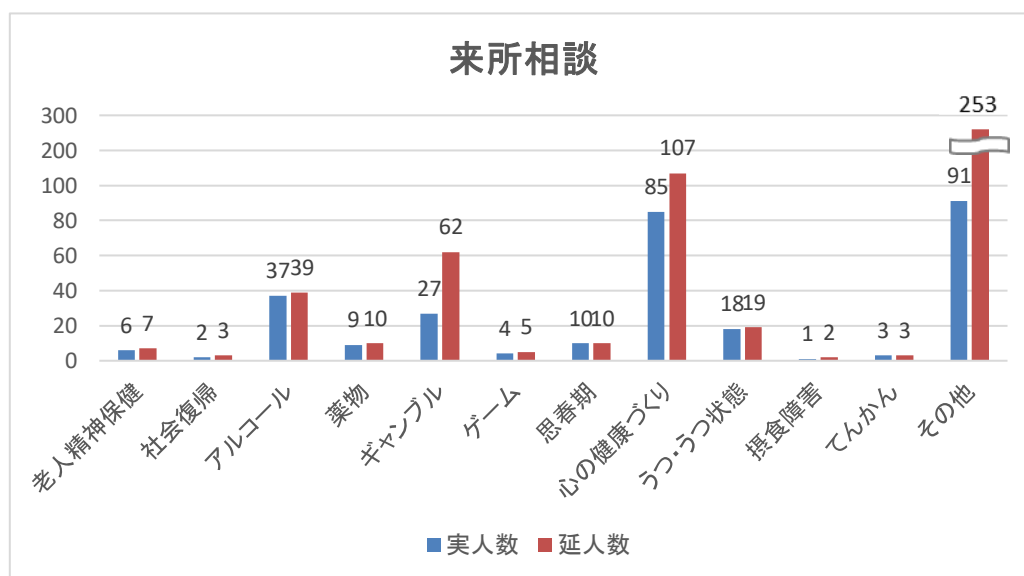
（1）こころの健康相談（全体）

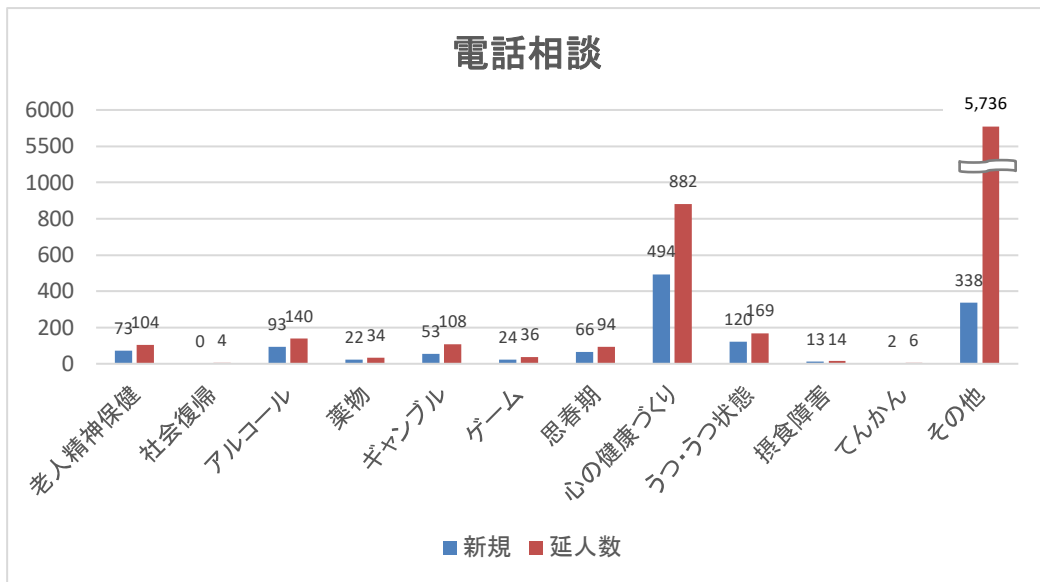
1）相談件数

	来所相談		電話相談 (メール・手紙を含む)		訪問	
	実人数※1	延人数	新規※2	延人数	実人数	延人数
老人精神保健	6	7	73	104	0	0
社会復帰	2	3	0	4	0	0
アルコール	37	39	93	140	1	1
薬物	9	10	22	34	0	0
ギャンブル	27	62	53	108	0	0
ゲーム	4	5	24	36	0	0
思春期	10	10	66	94	0	0
心の健康づくり	85	107	494	882	4	4
うつ・うつ状態	18	19	120	169	2	2
摂食障害	1	2	13	14	0	0
てんかん	3	3	2	6	0	0
その他	91	253	338	5,736	4	4
計	293	520	1,298	7,327	11	11

※1 実人数…今年度来所や訪問で相談を受けた実人数。

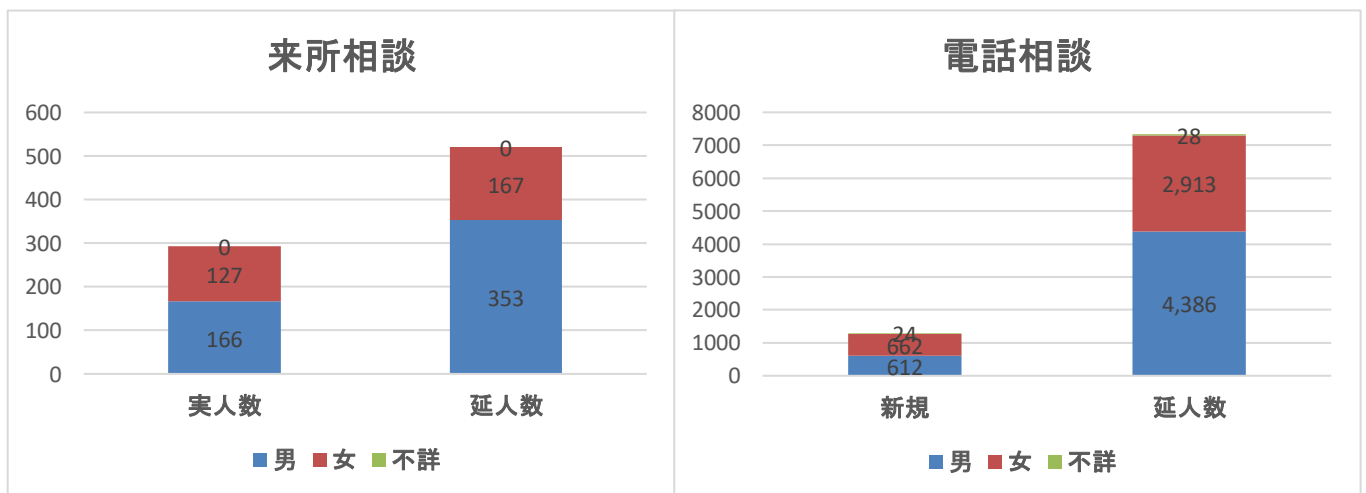
※2 新規…当センター開設以来、初めて電話相談を受けた人数。





2) 男女別件数

	来所相談		電話相談 (メール・手紙を含む)		訪問	
	実人数	延人数	新規	延人数	実人数	延人数
男	166	353	612	4,386	4	4
女	127	167	662	2,913	7	7
不詳	0	0	24	28	0	0
計	293	520	1,298	7,327	11	11



(2) 相談受付者の状況

1) 来所相談 (実人数)

(ア) 年齢

	6～ 12	13～ 15	16～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～	不詳	計
男	1	1	6	22	48	39	20	15	5	2	7	166
女	0	4	5	22	24	37	18	11	2	1	3	127
計	1	5	11	44	72	76	38	26	7	3	10	293

(イ) 相談者

	本人	本人以外								計
		父	母	配偶者	子	兄弟姉妹	祖父母	親戚	その他	
男	86	11	28	26	4	2	1	1	7	166
女	82	7	14	13	2	4	0	3	2	127
計	168	18	42	39	6	6	1	4	9	293

(ウ) 主たる相談内容

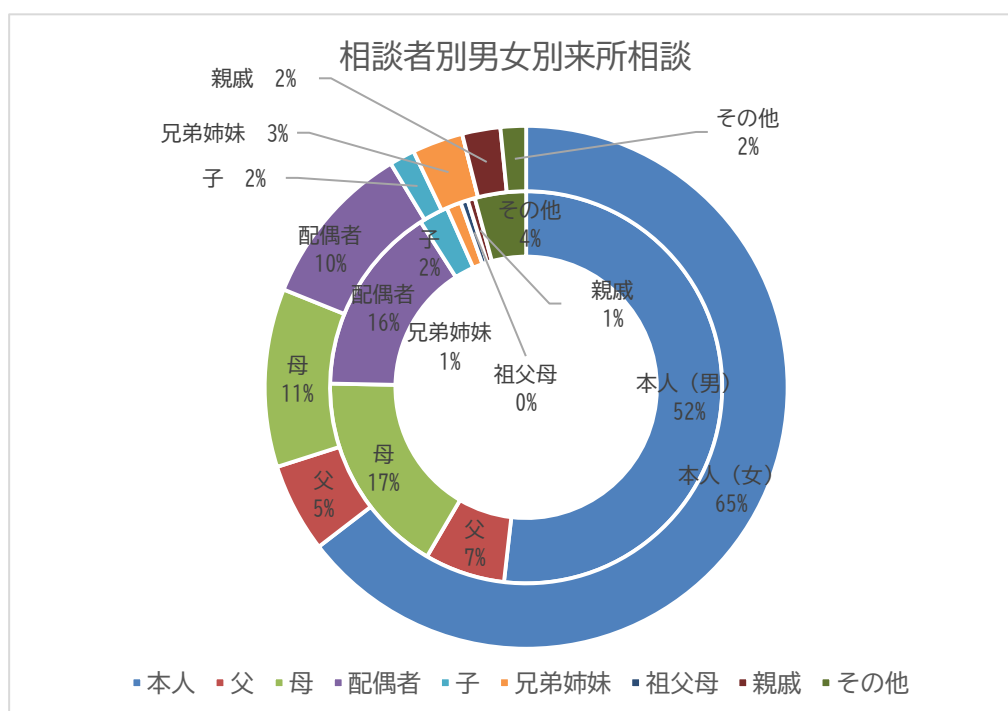
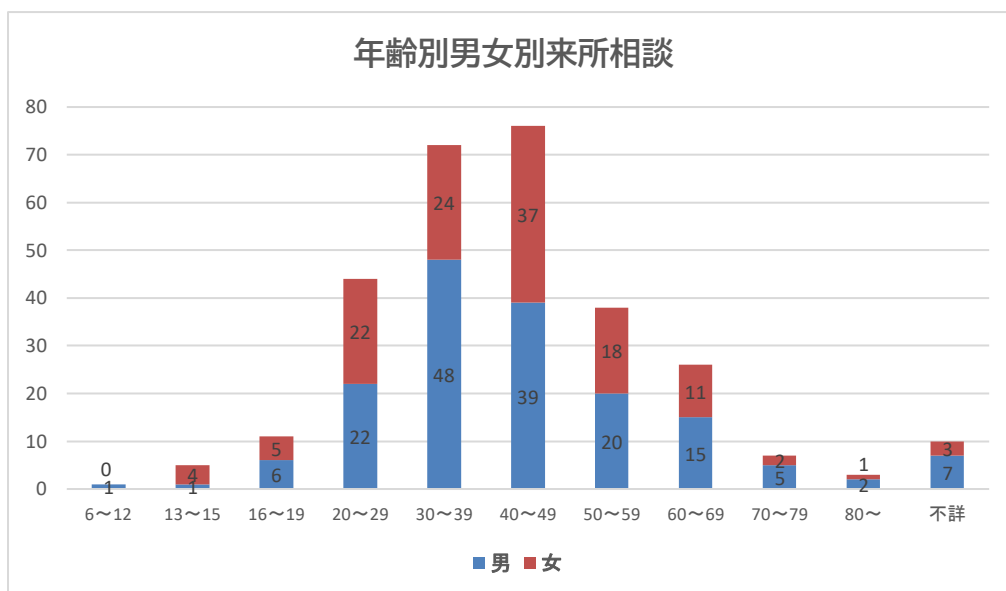
	精神疾患・障害の相談	依存・食行動の問題	思春期相談	家族関係の問題	対人関係の問題	心の健康の問題	福祉・社会復帰等の問題	その他	計
男	45	55	1	17	9	17	16	6	166
女	32	13	3	27	7	31	12	2	127
計	77	68	4	44	16	48	28	8	293

(エ) 受付経路

	関係機関紹介	市 政 だより	チラシ・パンフレット	インターネット	知人の紹介	知っていた	その他	不詳	計
男	49	4	5	31	9	28	34	6	166
女	44	2	2	24	12	19	20	4	127
計	93	6	7	55	21	47	54	10	293

再掲 (関係機関紹介の内訳件数)

	保健所	区役所	福祉事務所	医療施設	介護老人保健施設	障害者支援施設	社会福祉施設	教育関係機関	その他	計
男	2	4	5	15	0	1	0	0	22	49
女	1	10	0	12	0	0	1	3	17	44
計	3	14	5	27	0	1	1	3	39	93



2)電話相談（メール・手紙を含む）（新規）

（ア）年齢

	0 ～ 5	6 ～ 12	13 ～ 15	16 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80～	不詳	計
男	1	3	23	27	80	159	104	74	39	28	7	67	612
女	0	15	17	31	99	131	112	73	63	24	19	78	662
不詳	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	22	24
計	1	18	40	58	180	290	217	147	102	52	26	167	1,298

（イ）相談者

	本人	本人以外								計
		父	母	配偶者	子	兄弟姉妹	祖父母	親戚	その他	
男	329	20	106	66	24	26	7	12	22	612
女	415	13	86	44	28	19	6	16	35	662
不詳	8	0	0	0	0	0	0	0	16	24
計	752	33	192	110	52	45	13	28	73	1,298

（ウ）主たる相談内容

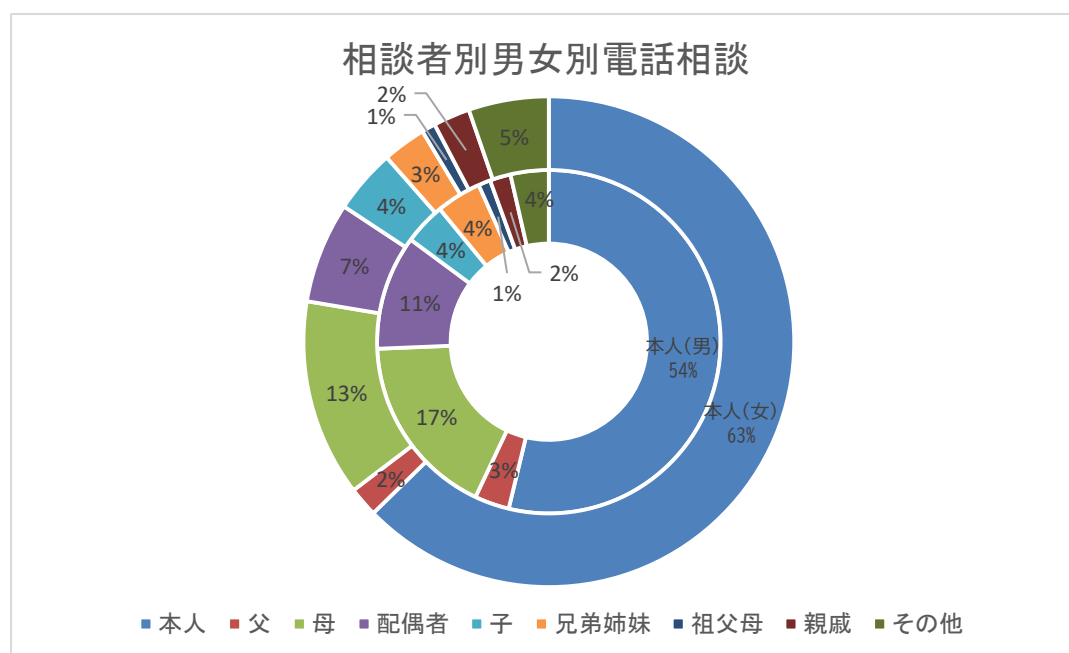
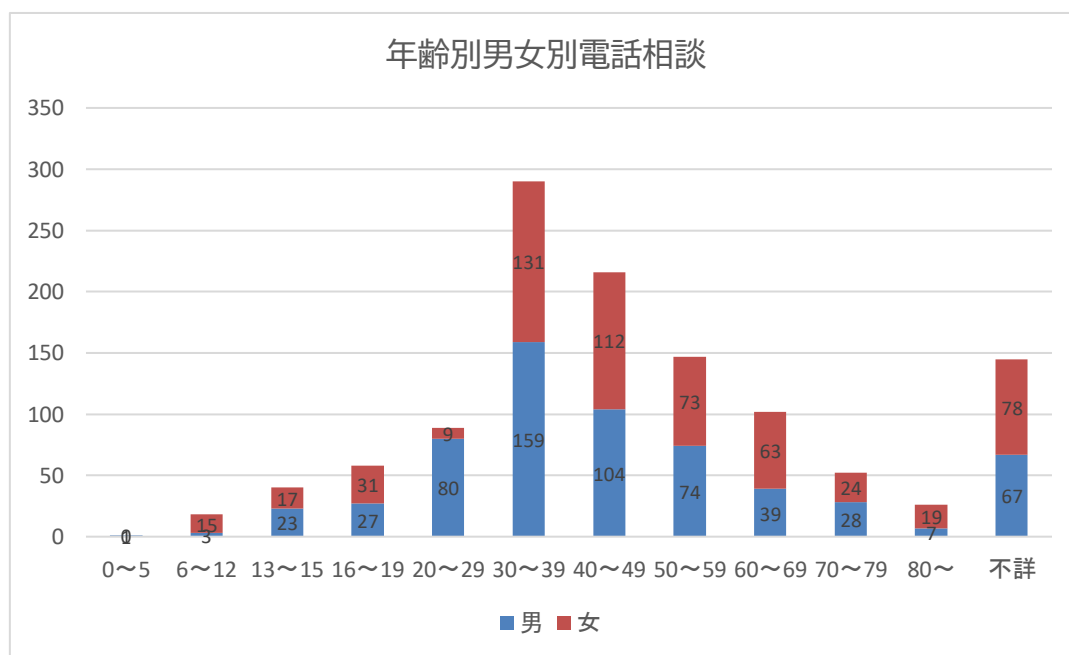
	精神疾患・障害の相談	依存・食行動の問題	思春期相談	家族関係の問題	対人関係の問題	心の健康の問題	福祉・社会復帰等の問題	その他	計
男	144	147	12	45	32	194	30	8	612
女	171	41	18	78	50	243	47	14	662
不詳	5	3	0	0	2	12	2	0	24
計	320	191	30	123	84	449	79	22	1,298

（エ）受付経路

	関係機関紹介	市 政 だより	チラシ・パンフレット	インターネット	知人の紹介	知っていた	その他	不詳	計
男	164	11	32	295	16	14	20	60	612
女	209	31	24	299	21	27	17	34	662
不詳	3	1	2	2	0	1	0	15	24
計	376	43	58	596	37	42	37	109	1,298

再掲（関係機関紹介の内訳件数）

	保健所	区役所	福 社 事 務 所	医 療 施 設	介護老 人保健 施 設	障害者 支 援 施 設	社会福 祉施設	教育関 係機関	そ の 他	計
男	1	20	0	86	0	0	1	0	56	164
女	8	24	7	109	1	1	1	3	55	209
不詳	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
計	9	46	7	195	1	1	2	3	112	376



3 人材育成・教育研修

当センターでは、地域の精神保健福祉活動の推進のために、研修会及び講演会を開催している。精神保健福祉に携わる職員等に対し専門的知識及び技術の習得を目的とし、様々な目的に応じて参加できるように企画している。

平成 28 年度からは、熊本地震後で被災した市民への支援のため、大規模災害後の課題への対応スキル向上のための研修を実施している。（Ⅲ 平成 28 年熊本地震への対応に再掲）

研修会名	開催回数	参加延人数
(1) 精神保健福祉担当者研修会	1	38
(2) 思春期精神保健福祉研修会	1	219
(3) 自殺予防研修会	6	533
(4) ゲートキーパー養成研修会	10	234
(5) 依存症研修会	1	73
(6) 社会復帰支援研修会	1	62
計	20	1,159

	参加延人数（所属別）
保健所	21
区役所	252
福祉事務所	3
医療機関	189
介護老人保健施設	0
障がい者支援施設	69
社会福祉施設	0
教育関係機関	212
その他	413
計	1,159

(1) 精神保健福祉担当者研修会

精神保健福祉業務に従事する保健所及び区役所職員等が、必要な専門的知識及び技術を習得することで、地域精神保健福祉活動の推進を図ることを目的に実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.5.23	・ 支援者が知っておきたい精神科対応ツール ・ 精神保健福祉法の概要及び精神保健福祉室の業務について ・ 障害者総合支援法と障害福祉サービスについて ・ こころの健康センター業務について ・ ひきこもり支援センター「りんく」業務について ・ 相談・面接の基礎	熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介 氏 精神保健福祉室（職員） 区役所福祉課（職員） こころの健康センター（職員） ひきこもり支援センター「りんく」（職員） こころの健康センター（職員）	38

(2) 思春期精神保健福祉研修会

教育関係者及び精神保健福祉業務に従事する者が、思春期における「発達障がい」や「自殺予防」等の課題への理解を深め、地域精神保健福祉活動の推進を図ることを目的に実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.8.8	・ 児童思春期にみられる精神障害について ～ネット依存・ゲーム障害を中心に～	向陽台病院 比江島 誠人 氏	219

(3) 自殺予防研修会 ※P19 参照

(4) ゲートキーパー養成研修会 ※P20 参照

(5) 依存症研修会 ※P22 参照

(6) 社会復帰支援研修会 ※P24 参照

4 普及啓発

当センターでは、精神保健福祉に関する知識、精神障がいについての正しい知識、精神障がい者の権利擁護等について、普及啓発を行っている。

熊本地震発災後の復興期のこころのケアに関する啓発を継続している。

(Ⅲ 平成 28 年熊本地震への対応に再掲)

区分	名称	開催回数	参加者数
自殺・うつ対策	(1) 自死遺族グループミーティング	7	17
	(2) ゲートキーパー養成講座	1	16
依存症対策	(3) 依存症当事者グループミーティング	22	117
	(4) 依存症家族教室	22	141
	(5) 依存症講演会（こころの健康づくり講演会）	1	53
	(6) 依存症予防普及啓発講話	4	915
社会復帰	(7) WRAP(元気回復行動プラン)集中クラス	2	10
	(8) 就労ミーティング（デイ修了生の集い）	10	34
	(9) ピアサポート講座	3	39
	(10) ピアサポートの集い（フォロー研修）	3	29
	(11) ピアサポート講演会	1	82
計		76	1,453

(1) 自死遺族グループミーティング	※P18 参照
(2) ゲートキーパー養成講座	※P20 参照
(3) 依存症当事者グループミーティング	※P21 参照
(4) 依存症家族教室	※P21 参照
(5) 依存症講演会（こころの健康づくり講演会）	※P21 参照
(6) 依存症予防普及啓発講話	※P22 参照
(7) WRAP(元気回復行動プラン)集中クラス	※P23 参照
(8) 就労ミーティング（デイ修了生の集い）	※P23 参照
(9) ピアサポート講座	※P23 参照
(10) ピアサポートの集い（フォロー研修）	※P24 参照
(11) ピアサポート講演会	※P24 参照

(12) パンフレット等の普及啓発資料の作成・配布

種類	名称
精神保健福祉相談全般	・ 熊本市こころの健康センター ・ うつ病のこと、知っていますか？ ・ 統合失調症のこと、知っていますか？ ・ 思春期リーフレット ・ ストレス時代をさわやかに ・ お父さん、ちゃんと寝てる？ ・ 知って守るこころの健康
自殺・うつ対策	・ 大切な人を亡くされた方へ ・ 悩みごと、へらしていきませんか？ ・ 大切な人の悩みに気づいてください
依存症対策	・ 依存症かもしれません ・ 依存症を知っていますか？ ・ 飲み過ぎには注意しましょう ・ あなたのお酒の飲み方は大丈夫？ ・ ゲーム依存啓発パネル
ひきこもり対策	・ ひきこもりってなんだろう？
災害関連	・ 被災されたみなさまへ ・ 被災されたお子さんをお持ちの家族の方へ ・ 飲みすぎに注意しましょう ・ 揺れる心 支える心 ・ 心のケアを大切に
新型コロナウイルス感染症関連	・ 新型コロナウイルス感染症に関するこころのケアについて

5 組織育成

当センターでは、地域精神保健福祉活動の推進のために、地域住民による組織的活動に協力するとともに、組織の育成について、専門的立場からの助言、協力等を行っている。

(1) 支援件数

	組 織 育 成				
	患者会	家族会	依存症の自助団体・回復施設	その他	計
支援件数	7	6	7	18	38

(2) 支援内容

1) 患者会

関係組織	回数	育成・支援内容
地域移行支援ピアサポーター (ピアサポートくまもと)	7	地域移行支援ピアサポーター連絡会打ち合わせ・意見交換会参加等

2) 家族会

関係組織	回数	育成・支援内容
熊本市心の障がい者家族会 (むつみ会)	4	会への参加
断酒会家族会 みのり	1	会への参加
NPO 法人 DARC 家族会	1	会への参加

3) 依存症の自助団体・回復施設

関係組織	回数	育成・支援内容
NPO 法人熊本 DARC	2	NPO 法人熊本 DARC 総会・NPO 法人熊本 DARC を支援する会 理事会会議参加
女性のための断酒会アメシスト	1	例会参加
AA	2	第 31 回 AA 九州・沖縄地域ラウンドアップin熊本、オープンスピーカーズミーティングへの参加
GA	1	GA 熊本グループ 20 周年記念オープンスピーカーズミーティングへの参加
断酒会	1	アルコール健康障害対策 一般公開セミナーへの参加

4) その他

関係組織	回数	育成・支援内容
精神保健福祉ボランティア	2	学習会・情報交換会・養成講座終了生の集い等
熊本アディクションフォーラム 実行委員会	7	実行委員会参加、熊本アディクションフォーラム参加等
熊本アルコール関連問題学会	2	運営委員会・理事会、学会参加
熊本精神科リハビリテーション 研究会	4	運営会議・理事会・総会・研究会参加等
児童精神症例検討会	3	会への出席（年3回実施）

6 関係機関への技術支援

当センターでは、地域精神保健福祉活動の推進のため、保健所、区役所及びその他関係機関に対し、専門的立場から技術支援を行なっている。常勤医師不在のため区役所や地域包括支援センターからの相談が減少傾向にある。

令和元年度も、熊本地震後に各区に設置された「地域支え合いセンター」への支援を「熊本こころのケアセンター」と共に引き続き実施している。

(1) 技術指導・援助延件数

	技術指導・援助													
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
保健所	0	0	1	0	0	0	0	4	1	4	0	0	5	15
区役所	12	0	8	1	2	0	8	58	4	17	0	20	82	212
福祉事務所	0	0	5	0	0	0	0	1	0	4	0	0	13	23
医療施設	1	1	7	1	0	0	2	8	0	51	0	0	20	91
介護老人保健施設	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
障害者支援施設	0	1	0	0	1	0	0	1	0	6	0	0	12	21
社会福祉施設	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	5	8
教育関係施設	0	0	1	8	0	0	6	9	0	1	0	0	1	26
その他	8	2	5	25	5	0	4	25	245	18	2	2	85	426
計	22	4	28	35	9	1	20	106	250	102	2	22	223	824

(2) 「(1) 技術指導・援助延件数」のうち個別ケース処遇に関する技術指導・援助 延件数（内訳）

	技術指導・援助													
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
保健所	0	0	1	0	0	0	0	4	1	4	0	0	5	15
区役所	12	0	8	1	2	0	8	58	4	16	0	20	81	210
福祉事務所	0	0	5	0	0	0	0	1	0	4	0	0	13	23
医療施設	1	1	5	1	0	0	1	7	0	48	0	0	19	83
介護老人保健施設	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
障害者支援施設	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	11	16
社会福祉施設	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	5	7
教育関係施設	0	0	1	0	0	0	6	9	0	0	0	0	1	17
その他	8	0	3	19	5	0	4	25	239	7	1	2	82	395
計	22	1	24	21	9	0	19	105	244	83	1	22	217	768

7 自殺・うつ対策

日本の自殺者数が減少しているように、本市でも減少こそしているものの、いまだ約 100 名の方が亡くなっている現状がある。本市の自殺対策の体制は、自殺対策の主管課である障がい保健福祉課（精神保健福祉室）が自殺対策連絡協議会や啓発活動等を行い、こころの健康センターが包括相談会の開催、ゲートキーパー養成・自殺予防研修会等の教育研修、自死遺族グループミーティング及びリーフレット・パネル作成等の普及啓発を通して、自殺の防止を図っている。

（１）くらしとこころの悩みの相談会（包括相談会）

自殺の社会的要因である、失業、倒産、多重債務問題等に対する生活相談や就労の相談、高齢介護、障がい者福祉に関する相談、こころの健康に関する相談を併せて行い、抱えている問題の解決を図る機会を提供することを目的として実施している。特に平成 28 年度からは、熊本地震被災者支援として実施している。また、9 月の相談会は熊本県弁護士会との共催で行い、3 月の相談会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

6 月の相談会は、全国的に若者の自殺が増加している現状を踏まえ、「若者のくらしとこころの悩み相談会」として実施した。

相談内容 職種 期日	多重債務 等の法律 及び生活 に関する 相談件数	病気・こころ の健康に関する 相談件数		多重債務等 生活に関する 相談件数	就労に関する相談 件数		ひきこもり に関する相談 件数	その他	合計 (実人数)
	弁護士	精神科 医師	臨床 心理士	生活自立支 援センター 相談員	ハロー ワーク 相談員	くまもと若 者サポ ーステー ション 相談員	ひきこもり 支援セン ター「りん く」相談員		
R1	4	9	9	2	3	0	0	1	28(23)
再掲	6/21	1	2	2	1	0	0	0	8(5)
	9/27	2	6	4	0	1		1	14(13)
	12/20	1	1	3	0	1		0	6(5)

（２）【新規事業】こころといのちの支援事業（自殺未遂者支援事業）

救急指定病院、警察署及び消防局(救急隊)等の関係機関から情報提供を受けた自殺未遂者に対して、自殺未遂の背景となった問題を整理し、関係機関を紹介するなど、相談支援を開始した（9 月から実働）。また、自殺未遂者本人に相談の意思が無くても、家族などが相談を希望する場合には、本人の意思や状況などに留意しつつ、家族等の相談として相談支援を行う。

搬送先の病院をはじめ、警察、消防などの関係機関とのネットワーク構築を図り情報共有を行う。

【相談対応実績】

	電話相談	来所相談	訪問相談	計
9月	0	1	0	1
10月	0	1	0	1
11月	1	1	0	2
12月	5	1	2	8
1月	9	0	2	11
2月	22	3	2	27
3月	35	4	1	40
計	72	11	7	90

【各関係機関との連絡協議会等実績】

※第4回連絡協議会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、紙面にて情報交換を実施した。

期日	参加機関	内容
R1.6.5	熊本医療センター	第1回連絡協議会
R1.7.9	熊本県警	事業説明及びリーフレット配布依頼
R1.7.11	熊本市消防局	事業説明及びリーフレット配布依頼
R1.9.18	熊本医療センター	第2回連絡協議会
R1.12.3	熊本医療センター	第3回連絡協議会
R2.3月	熊本医療センター、熊本県警、熊本市消防局	第4回連絡協議会（紙面にて情報交換）

（3）自死遺族グループミーティング

大切な人を自死（自殺）で亡くした者が悩みや苦しみを話せる機会を提供することを目的として実施した。

期日	回数	内容	参加人数
偶数月 第3木曜日 14:00～16:00	7	・フリートーク及び相談（6回） ・自死遺族・遺児のための交流会（R2.10.26）を開催 ※熊本県精神保健福祉センターと共催	17

(4)自殺予防研修会

精神保健福祉活動に従事する支援者に対して自殺予防の研修会を開催し、自殺予防の推進を図る。一部研修会(※)は、平成 28 年熊本地震の影響を受け、災害時のこころのケア研修として実施した。熊本県精神保健福祉センター、熊本こころのケアセンターと共催で開催した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.8.8	・子ども・若者たちの生きづらさの源は～つながりから考えるメンタルヘルス～	ヘルスプロモーション推進センター〔オフィスいわむろ〕 岩室 紳也 氏	160
R1.10.21	・自殺の危険からみた自殺予防の基礎	福岡大学医学部精神医学教室 衛藤 暢明 氏	64
R1.10.25	・自死遺族支援の実際～当事者・支援者両方の視点から～（熊本県精神保健福祉センター共催）	はつかいち法律事務所 佃 祐世 氏	30
R1.10.30	・サイコロジカル・ファーストエイド (※)	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	96
R1.11.14	第3回災害復興期のこころのケア研修会～今なお残るトラウマへの対処に向けて～ (※) ・災害トラウマの理解と対応 ・熊本地震の体験から～黒川地区学生村での経験と語り部活動を通して～ ・シンポジウム「熊本地震とトラウマ」	ニキハーティーホスピタル 仁木 啓介 氏 林 風笑 氏 熊本県スクールカウンセラー 駒米 勝利 氏 熊本県北部発達障がい者支援センターわっふる 木佐貫 奈々 氏 菊陽病院 村上 幸大 氏 熊本県総務部総務厚生 久保 礼子 氏	145
R1.12.4 12.5	・サイコロジカル・リカバリースキル (※)	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	38

(5) ゲートキーパー養成研修会（支援者向け）

自殺を防ぐために、地域支援者が自殺危機介入スキルの習得することを目的とした研修会を実施した。

【1日研修】

期 日	内 容	講師	参加人数
R1.6.26	自殺を考える人、自殺を計画する人のサインを見逃さず、危険性をはかり、安全計画を立てた上で、専門家等へつなぐ一連の対応について、実際の場面でのスキルを身につけるためのロールプレイ型実践研修	こころの健康センター職員	26
R2.1.29			11
R2.2.26（中止）			

※R2.2.26 は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

【短時間研修】

期 日	対 象	内 容	講師	参加人数
R1.7.31	熊本市地域包括支援センター	・ゲートキーパー概要 ・ストレス・マネジメント	こころの健康センター職員	103
R1.8.29	熊大公衆衛生看護学学生	・ゲートキーパー概要 ・熊本市の自殺対策		20
R1.9.4	愛育学園	・ゲートキーパー概要 ・ストレス・マネジメント		23
R1.9.5	北部土木センター・北部まちづくりセンター	・ゲートキーパー概要		15
R1.9.9	東区障がい福祉ネットワーク	・ゲートキーパー概要 ・ストレス・マネジメント		16
R1.10.16	医師（医師臨床研修）	・ゲートキーパー概要 ・熊本市の自殺対策		4
R1.10.24	熊本総合医療リハビリテーション学院学生	・ゲートキーパー概要 ・熊本市の自殺対策		2
R1.12.18	軽費老人ホームあかつき	・ゲートキーパー概要 ・ストレス・マネジメント		14

(6) ゲートキーパー養成講座（市民向け）

自殺を防ぐために、市民が自殺危機介入スキルの習得することを目的とした講座を実施した。

期 日	対 象	内 容	講師	参加人数
H31.4.24	島町北ゆるりサロン	・ゲートキーパー概要 ・ストレス・マネジメント	こころの健康センター職員	16

8 依存症対策

(1) 依存症当事者グループミーティング

依存症当事者を対象とし、依存症の回復プログラムを用いて、やめたくても自分でコントロールできない様々な行動を変えていくことを目的としたグループミーティングを実施した。

期日	回数	内容	講師	参加人数
毎月2回	22	12 ステップを用いたグループミーティング	熊本DARC 田邊 忠司 氏	117

(2) 依存症家族教室

アルコールや薬物・ギャンブルなどの依存症に伴う問題に対応するために、家族が学びあい、共感と癒しを得る機会を提供する。

期日	回数	内容	参加人数
毎月第1火曜日 18:30～20:30 毎月第3火曜日 13:30～15:30	22	「依存症」についての講話、回復者からの体験談、家族の学習会、コミュニケーションなどについて	141

(3) 保護観察所でのストレス講話（引受人会）

薬物事犯により、矯正施設に収容されている方の帰住先の引受人に対し、薬物依存に関する講話と家族のストレスケアについての講話を実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.6.11	・薬物依存について	こころの健康センター職員	18
R1.10.11	・家族教室の案内		21
R2.1.17	・当事者グループミーティングの案内 ・家族のストレスケア		23

(4) 依存症講演会（こころの健康づくり講演会・家族教室）

依存症で悩む家族が家族関係について正しい知識を習得し、問題行動への対応を学ぶための機会として実施している。また、広く市民を対象とし、「心の健康づくり」として依存症に関わる啓発を実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.11.2	・「身近にある依存症～回復支援と家族支援について～」 ・対談	藍里病院 吉田 精次 氏 熊本DARC 田邊 忠司 氏	53
	家族教室 「座談会～吉田先生に聞いてみよう！～」	同上	17

(5) 依存症予防普及啓発講話

市民に対して、依存症についての知識を普及啓発することを目的として実施した。

期 日	対 象	内 容	講 師	参加人数
R1.11.21	桜木中学校の全校生徒	・薬物乱用防止について ・薬物依存症について	こころの健康 センター職員	530
R1.12.9	飽田西小学校の6年生	・薬物乱用防止について ・薬物依存症について		36
R2.2.13	西原小学校の全校児童	・飲酒・薬物乱用防止について ・依存症について		250
R2.2.20	力合小学校の6年生	・飲酒・薬物乱用防止について ・依存症について		99

(6) 依存症研修会

精神保健福祉業務に従事する者が、依存症についての必要な専門的知識及び技術を習得することで、依存症への適切な対応の充実を図ることを目的に実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.11.1	・「依存症治療と家族支援（CRAFT）」	藍里病院 吉田 精次 氏	73

9 精神障がい者の社会復帰支援

精神障がい者のピアサポートや、就労支援関係機関と連携し就労支援を行うことにより、精神障がい者の社会復帰を促進している。

(1) WRAP(元気回復行動プラン)集中クラス

日常生活で苦労や困難に直面した際に WRAP(元気回復行動プラン)を利用して、元気を回復する、または元気を保つための方法を学ぶ機会を提供することを目的として実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.8.29 8.30	WRAP(元気回復行動プラン)	WRAP ファシリテーター 3名	実5 延10

(2) 就労ミーティング(デイ修了生の集い)

デイ・ケアの修了者を対象として、生活支援・就労支援を目的に生活や自身の体調等を振り返るミーティングを実施している。

期日	内容	参加人数
H31.4.17～ R2.3.18	月第3水曜に実施(11:00～12:00) 修了者全員を対象に、就労・就労継続についての話し合いを実施	34

(3) ピアサポート講座

精神障がい者が、その経験を生かし、理解と共感を持って仲間をサポートしていけるように知識や情報を知る機会を提供することを目的に実施した。また、講座修了者等を対象にピアサポートスキルの向上やさらなる知識の習得に向けたフォロー研修の機会を年3回提供した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.8.2	・ピアサポートを考えよう！ ・グループワーク・意見交換	こころの健康センター職員	14
R1.8.9	・ピアサポート実践者の話を聞いてみよう！ ・精神障がい者地域移行・地域定着支援でのピアサポーターの役割 ・グループワーク・意見交換	ピアサポーター 精神保健福祉室職員および ピアサポーター2名(ピアサポートくまもと)	13
R1.8.16	・私のリカバリー～体験談とピアサポート ・ピアサポートで大切にしたいこと ・グループワーク・意見交換・情報提供	ピアサポーター2名 こころの健康センター職員	12

(4) ピアサポートの集い（フォロー研修）

期日	内容	講師	参加人数
R1.10.4	・「ピアサポートのさまざまなかたち」 ・グループワーク ・情報提供	こころの健康センター職員	10
R1.12.24	・「ピアサポートにおける距離感～バウンダリー～」 ・グループワーク ・情報提供		8
R2.2.14	・「リカバリーに大切なこと～ストレングス～」 ・グループワーク ・情報提供		11

(5) ピアサポート講演会

当事者、支援者、市民等に向けて他都市で行われているピアサポート活動を紹介し、ピアサポートの普及・啓発を図ることを目的として実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.7.18	・「精神保健福祉におけるなかまの関係とピアサポート～当事者による実践と協働（コラボレーション）～」 ・「退院支援を通じたピアサポート活動」	一般社団法人大阪精神保健福祉士協会 金 文美 氏 ピアサポーター（ピアサポートくまもと）	82

(6) 社会復帰支援研修会

精神障がい者の社会復帰促進を目的に関係機関職員に対する人材育成としての教育研修を実施した。

期日	内容	講師	参加人数
R1.12.9	・「精神科領域における認知機能障害とリハビリテーション」	京都府立洛南病院 岩根 達郎 氏	62

10 ひきこもり対策推進事業

ひきこもり支援のさらなる充実をはかるために平成 26 年 10 月よりひきこもり支援センターを設置し、運営業務を委託している。

(1) ひきこもり支援センター 「りんく」

平成 26 年 10 月より、ひきこもり状態にある本人及びその家族等の第一次相談窓口として、またひきこもり対策推進事業における「ひきこもり地域支援センター」として、ひきこもり支援センター「りんく」を設置した。実施主体は熊本市であるが、事業運営については NPO 法人に委託している。

(2) センター概要

開所日：平日 8:30~17:15

場所：熊本市中央区大江 5 丁目 1 番 1 号

熊本市総合保健福祉センター（ウェルパルくまもと）3 階

対象者：熊本市内在住のひきこもり状態の方及びその家族等

スタッフ：スタッフ：専属 3 名（精神保健福祉士、臨床心理士等）非常勤 2 名

運営主体：NPO 法人おーさあ

(3) 事業内容

1) 相談事業

来所、電話、訪問、メール等で相談対応をしている。

2) 関係機関との連携

(ア) ひきこもり支援機関連絡協議会

ひきこもり状態にある本人及びその家族が切れ目なく適切な支援や情報等と継続的につながることができるよう、官民協働による重層的かつ横断的なネットワークを構築することを目的に実施している。（年 2 回開催）

3) 普及啓発

(ア) リーフレット作成・配布

「ひきこもり ひとりで悩まないで」、熊本市ひきこもり支援センター「りんく」を作成し配布している。

(イ) 講演会

市民・支援者向けに「ひきこもり」に関する理解を深めるため、講演会を開催している。

(ウ) 研修会

市民・支援者向けに「ひきこもり」に関する理解を深め、対応について学ぶため、研修会を開催している。

4) ひきこもりサポーター養成

ひきこもり状態の本人や家族等への支援に関心のある方をサポーターとして養成する。

(ア) 一般向け ひきこもりサポーター養成研修

一般の方を対象に、養成研修を実施している。全て出席するとひきこもりサポーターとして認定している。

(イ) ピアサポーター養成研修

ひきこもり状態の本人や家族を対象に、2回の研修を実施している。全て受講するとピアサポーターとして認定している。

5) その他のひきこもり対策推進事業

(ア) ひきこもり家族教室

同じ悩みを抱えた家族同士が自由な雰囲気話し合い、当事者への理解を深める場として家族教室を実施している。(月1回 13:30～15:30)

(イ) ひきこもり当事者プログラム

ひきこもり状態の方が安心して過ごせる場として、交流や社会性向上を目的に各種活動を実施している。(週2回 14:00～15:30)

6) ひきこもり相談件数

	電話相談		メール相談		来所相談		訪問相談	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
H26	181	324	9	65	105	255	10	33
H27	272	1154	28	167	195	822	23	168
H28	288	1473	19	141	141	896	34	262
H29	255	1119	15	100	178	867	28	244
H30	269	1371	17	88	185	765	34	226
R1	315	1370	18	73	168	806	28	232

※H26年度はH26年10月～H27年3月まで。

7) 年間活動

	ひきこも り支援機 関連絡協 議会	研修会	講演会	ひきこもりサポ ーター養成研修 (一般向け)		ピアサポーター 養成研修 (本人・家族向 け)		集団プロ グラム (本人向 け・出張 型含む)	集団プロ グラム (家族向 け・出張 型含む)
H26	78 (2回)	148 (5回)	67 (1回)	実23 延70	(5回)	実8 延26	(5回)	131 (44回)	45 (6回)
H27	62 (2回)	132 (12回)	77 (2回)	実27 延63	(6回)	実4 延9	(4回)	408 (127回)	133 (42回)
H28	57 (2回)	52 (4回)	119 (2回)	実24 延38	(3回)	実4 延16	(4回)	258 (130回)	119 (49回)
H29	53 (2回)	39 (3回)	82 (1回)	実10 延20	(1回)	実2 延4	(1回)	287 (100回)	69 (12回)
H30	49 (2回)	53 (3回)	42 (1回)	実7 延13	(1回)	実1 延2	(1回)	270 (98回)	56 (12回)
R1	60 (2回)	65 (3回)	25 (1回)	実14 延27	(1回)	実1 延2	(1回)	366 (88回)	67 (11回)

延べ参加人数（回数） 平成28年度までは集団プログラム本人向け・家族向けは東区・西区・南区・北区でも開催していたが、平成29年度からはウエルパルのみで実施。

※H26年度はH26年10月～H27年3月まで。

1 1 自立支援医療費（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

当センターでは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、自立支援医療（精神通院医療）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行っている。

（１）自立支援医療費（精神通院）

年度	申請件数	承認	不承認
H29	14,079	14,073	6
H30	14,270	14,260	10
R1	16,125	16,120	5

（２）精神障害者保健福祉手帳

１）診断書による申請件数

年度	新規申請	更新申請	等級変更	計
H29	631	1,728	33	2,392
H30	598	1,710	25	2,333
R1	711	1,943	24	2,678

※取り下げを除く。

２）診断書による申請の判定結果

年度	１級	２級	３級	保留	不承認	計
H29	298	1,472	586	38	36	2,392
H30	281	1,412	625	26	15	2,333
R1	292	1,497	873	32	16	2,678

※保留については、最終的に１～３級若しくは不承認と認定されている。

３）年金証書による申請件数

年度	新規申請	更新申請	等級変更	計
H29	142	1924	16	2,082
H30	163	1960	19	2,142
R1	143	2,270	19	2,432

※取り下げを除く。

4) 年金証書による申請の認定件数

年度	1 級	2 級	3 級	保留	不承認	計
H29	306	1,599	146	5	26	2,082
H30	320	1,677	157	3	15	2,172
R1	298	1,954	169	6	11	2,438

※保留については、年金事務所等の照会先からの回答が、設定した期限に間に合わない場合等を含む。

5) 精神障害者保健福祉手帳所持者数

年度	1 級	2 級	3 級	計
H29	1,154	6,069	1,397	8,620
H30	1,147	6,264	1,507	8,918
R1	1,130	6,505	1,787	9,422

1 2 精神医療審査会の審査に関する事務

当センターでは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会の開催事務、審査遂行上必要な調査及びその他審査会の運営に関する事務を行っている。

(1) 定期等の報告

年度	措置定期	医保定期	医保入院	計
H29	36	709	2,243	2,988
H30	28	668	2,177	2,873
R1	31	668	2,185	2,884

(2) 退院等請求（請求件数、審査結果の内訳）

年度	退院請求			処遇改善請求		
	審査件数	取り下げ・終了	計	審査件数	取り下げ・終了	計
H29	32	9	41	12	7	19
H30	29	11	40	14	4	18
R1	51	13	64	17	7	24

(3) 審査結果内訳

年度	退院請求				処遇改善請求		
	入院不適	形態変更	入院継続	計	処遇適当	処遇不適	計
H29	0	1	31	32	12	0	12
H30	0	1	28	29	14	0	14
R1	0	2	49	51	17	0	17

(4) 相談等件数

年度	電話相談件数	電話延件数	請求書送付件数	請求の電話受理件数
H29	104	224	66	0
H30	116	235	65	0
R1	165	212	106	0

(5) 代理人・家族等による請求

年度	代理人	家族等	計
H29	7	0	7

H30	7	1	8
R1	6	1	7

Ⅲ 平成28年熊本地震への対応（令和元年度活動分）

熊本地震発災後は、医療機関や関係機関の稼働状況の情報収集・提供、自助グループの活動状況の情報収集・提供、被災者や庁内外の関係者向けの資料の作成・提供と相談対応、災害後のこころのケアに関する市民への啓発や関係者への研修等の人材育成、各区役所の地域ささえ合いセンター職員への巡回相談等を行っていた。

発災後4年目の令和元年度で各区への巡回相談は終了し、既存の事業の中で対応することとなる。

1 相談

（1）電話相談

年度	総数 (再掲)	震災関連の相談数	震災関連の割合
H28	7,643	556	7.3%
H29	6,587	80	1.2%
H30	6,562	31	0.5%
R1	7,292	12	0.2%

平成28年度の電話相談件数の中の震災関連の割合は7.3%と多かったが、平成29年度には1.2%、平成30年度は0.5%、令和元年度は0.2%と減少傾向である。

令和元年度の震災関連の相談は12件であったが、内容としては「地震後も体調不良が続いている」が多く、その中には夜間の地震だったことから「入浴が不安」「夜が怖い」といったものもある。「飲酒が増えた」「転居したくない」等の相談もあっている。

年代的には、全世代から相談があっており、男女比も変わらなかった。

（2）来所相談

通常の来所相談の中で対応。

震災関連の相談は平成28年度が延べ25件、平成29年度は1件、平成30年度は延べ8件、令和元年度は延べ6件であった。

（3）包括相談会（再掲）

年4回実施している精神科医師、弁護士、臨床心理士、生活自立支援センター等による包括相談会に関しては、平成28年度から、被災者への支援を考慮して相談対応者にハローワークを加えて実施している。

2 広報・啓発（「4 普及啓発」より、災害関連のみ抜粋）

（1）市民、職員向け資料作成・提供

震災後に作成した資料に関しては、平成 28 年度所報に掲載（8 種）した。現在は以下 5 種をホームページに掲載している。

内 容
・被災されたみなさまへ ・被災されたお子さんをお持ちの家族の方へ ・飲みすぎに注意しましょう ・揺れる心 支える心 ・心のケアを大切に

（2）市民向け講演会：災害後に懸念されるアルコール問題に関する啓発（再掲）

期日	内容	講師	参加人数
R1.11.2	・「身近にある依存症～回復支援と家族支援について～」 ・対談	藍里病院 吉田 精次 氏 熊本 DARC 田邊 忠司 氏	53
	家族教室 ・座談会～吉田先生に聞いてみよう！～	同上	17

3 人材育成

（1）支援者向け研修（庁内外向け）（再掲）

災害関連の研修会は、平成 28 年度以降、熊本県精神保健福祉センターや熊本こころのケアセンターと 3 者共催で企画実施。

（対象：県、市町村職員、精神科医療機関、教育関係機関等、災害支援関係者）

期日	内容	講師	参加人数
R1.10.30	・サイコロジカル・ファーストエイド	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	96
R1.11.14	第 3 回災害復興期のこころのケア研修会～今 なお残るトラウマへの対処に向けて～ ・災害トラウマの理解と対応 ・熊本地震の体験から～黒川地区学生村での 経験と語り部活動を通して～ ・シンポジウム「熊本地震とトラウマ」	ニキハーティーホスピタル 仁木 啓介 氏 林 風笑 氏 熊本県スクールカウンセラー 駒米 勝利 氏 熊本県北部発達障がい者支援 センターわっふる 木佐貫 奈々 氏 菊陽病院 村上 幸大 氏	145

		熊本県総務部総務厚生 久保 礼子 氏	
R1.12.4 12.5	・サイコロジカル・リカバリースキル	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	38

(2) ゲートキーパー養成研修会

災害後に増加が懸念される自殺を防ぐために、地域支援者等が自殺危機介入スキルの習得を目的とした講座。(庁内外の支援者向け)(再掲)

期 日	内 容	講師	参加人数
R1.6.26	自殺を考える人、自殺を計画する人のサインを見逃さず、危険性をはかり、安全計画を立てた上で、専門家等へつなぐ一連の対応について、実際の場面でのスキルを身につけるためのロールプレイ型実践研修	こころの健康センター 職員	26
R2.1.29			11
R2.2.26(中止)			

※R2.2.26 は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

4 技術支援

(1) 関係機関への技術支援

平成 28 年度のうち災害関連での技術支援件数は総件数 1,391 件中 207 件(14.9%)。

平成 29 年度は、総件数 850 件中 64 件(7.5%)、平成 30 年度は 878 件中 45 件(5.1%)、令和元年度は 824 件中 22 件(2.7%)であった。

各区役所福祉課内の地域ささえ合いセンターからの相談が主であり、22 件には以下の区役所巡回相談のケース数も含まれている。

(2) 精神科医師による区役所巡回相談(支援者向け)

平成 28 年 11 月 1 日に 5 区役所に設置された「地域支え合いセンター」にて、みなし仮設に入居中の支援にあたっている看護師を主な対象として、区役所への巡回相談を継続して実施した。相談の要望件数が減ったため、巡回相談体制としては終了した。

年度	回数	ケース数	参加者
H28(2月開始)	5	15	57
H29	12	41	161
H30	9	25	121
R1	5	15	67

5 熊本こころのケアセンターについて（参考）

熊本地震の被災者の心のケアを中長期的に行うための拠点として熊本県が設置。本市を含む熊本県内全域を活動範囲としており、精神科医師、保健師、精神保健福祉士等からなる9名の常勤スタッフ及び非常勤スタッフで構成されている。

- ① 開設日 平成28年10月17日
- ② 所在地 熊本市東区月出3丁目1-120（熊本県精神保健福祉センター内）
- ③ 事業実施方法 熊本県が公益社団法人熊本県精神科協会に事業を委託
- ④ 主な業務内容 被災者への相談支援、支援者への支援、人材育成、普及啓発等
- ⑤ 相談状況 対応件数は、以下のとおりであった。

年度	県内全域 (熊本市含)	熊本市			
			電話	来所	訪問
H28(10/17～)	196	79	74	5	0
H29	1,032	261	195	24	42
H30	951	331	261	29	41
R1	517	218	161	21	36
合計	2,696	889	691	79	119

令和元年度 熊本市こころの健康センター所報
令和2年12月17日 発行

発行元

熊本市こころの健康センター

〒862-0971

熊本市中央区大江5丁目1-1 ウェルパルクまもと3階

TEL:096-366-1171 FAX:096-366-1173